

## 【表紙】

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 【提出書類】     | 半期報告書                           |
| 【提出先】      | 関東財務局長殿                         |
| 【提出日】      | 2021年3月11日提出                    |
| 【計算期間】     | 第1期中(自 2020年6月12日至 2020年12月11日) |
| 【ファンド名】    | 楽天・日本株マイクロキャップ・ファンド             |
| 【発行者名】     | 楽天投信投資顧問株式会社                    |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 東 眞之                    |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区南青山二丁目 6 番 2 1 号           |
| 【事務連絡者氏名】  | 石舘 真                            |
| 【連絡場所】     | 東京都港区南青山二丁目 6 番 2 1 号           |
| 【電話番号】     | 03-6432-7746                    |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項はありません。                     |

## 1【ファンドの運用状況】

## 【楽天・日本株マイクロキャップ・ファンド】

以下の運用状況は2020年12月30日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## ( 1 )【投資状況】

| 資産の種類               | 国 / 地域 | 時価合計（円）     | 投資比率（％） |
|---------------------|--------|-------------|---------|
| 株式                  | 日本     | 234,137,400 | 89.31   |
| 現金・預金・その他の資産(負債控除後) | —      | 28,019,714  | 10.69   |
| 合計(純資産総額)           |        | 262,157,114 | 100.00  |

## ( 2 )【運用実績】

## 【純資産の推移】

| 期別         | 純資産総額（百万円） |      | 1口当たり純資産額（円） |      |
|------------|------------|------|--------------|------|
|            | 分配落ち       | 分配付き | 分配落ち         | 分配付き |
| 2020年 6月末日 | 200        | —    | 1.0417       | —    |
| 7月末日       | 205        | —    | 1.0180       | —    |
| 8月末日       | 209        | —    | 1.0850       | —    |
| 9月末日       | 224        | —    | 1.1595       | —    |
| 10月末日      | 235        | —    | 1.1300       | —    |
| 11月末日      | 252        | —    | 1.1932       | —    |
| 12月末日      | 262        | —    | 1.1898       | —    |

## 【分配の推移】

| 期    | 期間                      | 1口当たりの分配金（円） |
|------|-------------------------|--------------|
| 当中間期 | 2020年 6月12日～2020年12月11日 | —            |

## 【収益率の推移】

| 期    | 期間                      | 収益率（％） |
|------|-------------------------|--------|
| 当中間期 | 2020年 6月12日～2020年12月11日 | 16.74  |

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

## 2【設定及び解約の実績】

## 【楽天・日本株マイクロキャップ・ファンド】

| 期    | 期間                      | 設定口数（口）     | 解約口数（口）    |
|------|-------------------------|-------------|------------|
| 当中間期 | 2020年 6月12日～2020年12月11日 | 290,534,201 | 75,864,555 |

(注)第1中間計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

### 3【ファンドの経理状況】

(1)当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則(昭和52年大蔵省令第38号)」並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則(平成12年総理府令第133号)」に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1期中間計算期間(2020年6月12日から2020年12月11日まで)の中間財務諸表については、EY新日本有限責任監査法人より中間監査を受けております。

## 【楽天・日本株マイクロキャップ・ファンド】

## （１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

|                 | 第1期中間計算期間末<br>2020年12月11日現在 |
|-----------------|-----------------------------|
| 資産の部            |                             |
| 流動資産            |                             |
| コール・ローン         | 40,922,429                  |
| 株式              | 225,497,600                 |
| 未収入金            | 8,065,472                   |
| 未収配当金           | 167,000                     |
| 流動資産合計          | 274,652,501                 |
| 資産合計            | 274,652,501                 |
| 負債の部            |                             |
| 流動負債            |                             |
| 未払金             | 13,025,209                  |
| 未払解約金           | 61,597                      |
| 未払受託者報酬         | 36,219                      |
| 未払委託者報酬         | 10,920,342                  |
| 未払利息            | 112                         |
| 流動負債合計          | 24,043,479                  |
| 負債合計            | 24,043,479                  |
| 純資産の部           |                             |
| 元本等             |                             |
| 元本              | 214,669,646                 |
| 剰余金             |                             |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ） | 35,939,376                  |
| 元本等合計           | 250,609,022                 |
| 純資産合計           | 250,609,022                 |
| 負債純資産合計         | 274,652,501                 |

## （２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

|                                           | 第1期中間計算期間<br>自 2020年 6月12日<br>至 2020年12月11日 |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 営業収益                                      |                                             |
| 受取配当金                                     | 679,275                                     |
| 有価証券売買等損益                                 | 41,295,000                                  |
| その他収益                                     | 11                                          |
| 営業収益合計                                    | 41,974,286                                  |
| 営業費用                                      |                                             |
| 支払利息                                      | 14,915                                      |
| 受託者報酬                                     | 36,219                                      |
| 委託者報酬                                     | 10,920,342                                  |
| その他費用                                     | 63                                          |
| 営業費用合計                                    | 10,971,539                                  |
| 営業利益又は営業損失（ ）                             | 31,002,747                                  |
| 経常利益又は経常損失（ ）                             | 31,002,747                                  |
| 中間純利益又は中間純損失（ ）                           | 31,002,747                                  |
| 一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ） | 5,597,022                                   |
| 期首剰余金又は期首欠損金（ ）                           | -                                           |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額                            | 11,717,384                                  |
| 中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額                   | 11,717,384                                  |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額                            | 1,183,733                                   |
| 中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額                   | 1,183,733                                   |
| 分配金                                       | -                                           |
| 中間剰余金又は中間欠損金（ ）                           | 35,939,376                                  |

## （３）【中間注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

|                            |                                                                                                                                          |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法         | 株式<br>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。<br>時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。            |
| 2. 収益及び費用の計上基準             | 受取配当金<br>原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。<br><br>有価証券売買等損益の計上基準<br>約定日基準で計上しております。                                               |
| 3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 金融商品の時価に関する補足情報<br>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 |

## （中間貸借対照表に関する注記）

| 項目                     | 第1期中間計算期間末<br>2020年12月11日現在 |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 計算期間末日における受益権の総数    | 214,669,646口                |
| 2. 計算期間末日における1口当たり純資産額 | 1口当たり純資産額 1.1674円           |
|                        | (10,000口当たり純資産額) (11,674円)  |

## （中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

## （金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

| 項目                 | 第1期中間計算期間末<br>2020年12月11日現在                                                                                                                                         |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 貸借対照表計上額と時価との差額 | 中間貸借対照表計上額は原則として時価で計上されているため、差額はありません。                                                                                                                              |
| 2. 時価の算定方法         | <p>(1) 有価証券<br/>重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引<br/>該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金銭債権及び金銭債務<br/>短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。</p> |

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（その他の注記）

元本の移動

| 項目             | 第1期中間計算期間<br>自 2020年 6月12日<br>至 2020年12月11日 |
|----------------|---------------------------------------------|
| 投資信託財産に係る元本の状況 |                                             |
| 期首元本額          | 163,244,886円                                |
| 期中追加設定元本額      | 127,289,315円                                |
| 期中一部解約元本額      | 75,864,555円                                 |

## 4【委託会社等の概況】

## (1)【資本金の額】

2020年12月末現在  
 資本金の額 : 150百万円  
 発行可能株式総数 : 30,000株  
 発行済株式総数 : 13,000株  
 過去5年間ににおける主な資本金の増減 : 該当事項はありません。

## (2)【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに、「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として、その運用（投資運用業）を行っています。また、「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業にかかる業務の一部および投資助言・代理業務を行っています。

2020年12月末現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。

| ファンドの種類   | 本数 | 純資産総額（百万円） |
|-----------|----|------------|
| 追加型株式投資信託 | 55 | 406,515    |
| 合計        | 55 | 406,515    |

## (3)【その他】

## (1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

## (2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される訴訟事件などは発生していません。

## 5【委託会社等の経理状況】

1. 委託会社である楽天投信投資顧問株式会社（以下「当社」といいます。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」といいます。）、並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年8月30日大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という）、並びに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

2. 財務諸表及び中間財務諸表に記載している金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第14期事業年度（2019年1月1日から2019年12月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けており、中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

## (1)【貸借対照表】

| (単位：千円)                  |   |           |                          |           |
|--------------------------|---|-----------|--------------------------|-----------|
| 前事業年度<br>(2018年12月31日現在) |   |           | 当事業年度<br>(2019年12月31日現在) |           |
| 資産の部                     |   |           |                          |           |
| 流動資産                     |   |           |                          |           |
| 現金・預金                    |   | 749,355   |                          | 677,158   |
| 金銭の信託                    |   | 1,300,000 |                          | 1,400,000 |
| 前払費用                     |   | 6,087     |                          | 6,720     |
| 未収入金                     |   | -         |                          | 2,622     |
| 未収委託者報酬                  |   | 118,904   |                          | 151,985   |
| 立替金                      |   | 12,980    |                          | 16,949    |
| その他                      |   | 5,000     |                          | 7,331     |
| 流動資産計                    |   | 2,192,328 |                          | 2,262,767 |
| 固定資産                     |   |           |                          |           |
| 有形固定資産                   | 1 | 34,138    | 1                        | 28,585    |
| 建物（純額）                   |   | 20,816    |                          | 14,479    |
| 器具備品（純額）                 |   | 13,321    |                          | 14,105    |
| 無形固定資産                   |   | 19,448    |                          | 79,461    |
| ソフトウェア                   |   | 19,448    |                          | 79,461    |
| 投資その他の資産                 |   | 51,609    |                          | 30,115    |
| 投資有価証券                   |   | 39,373    |                          | 2,017     |
| 長期前払費用                   |   | 405       |                          | 229       |
| 繰延税金資産                   |   | 11,830    |                          | 27,868    |
| 固定資産計                    |   | 105,195   |                          | 138,162   |
| 資産合計                     |   | 2,297,524 |                          | 2,400,929 |
| 負債の部                     |   |           |                          |           |
| 流動負債                     |   |           |                          |           |
| 預り金                      |   | 5,949     |                          | 5,163     |
| 未払費用                     |   | 86,606    |                          | 120,042   |
| 未払消費税等                   |   | 11,091    |                          | 1,897     |
| 未払法人税等                   |   | 6,212     |                          | 10,750    |
| 賞与引当金                    |   | 12,138    |                          | 13,264    |

|              |           |           |
|--------------|-----------|-----------|
| 役員賞与引当金      | 3,195     | 3,000     |
| 流動負債計        | 125,191   | 154,119   |
| 固定負債         |           |           |
| 退職給付引当金      | 3,366     | 18,016    |
| 資産除去債務       | 5,699     | -         |
| 固定負債計        | 9,065     | 18,016    |
| 負債合計         | 134,257   | 172,135   |
| 純資産の部        |           |           |
| 株主資本         |           |           |
| 資本金          | 150,000   | 150,000   |
| 資本剰余金        |           |           |
| 資本準備金        | 400,000   | 400,000   |
| その他資本剰余金     | 229,716   | 229,716   |
| 資本剰余金合計      | 629,716   | 629,716   |
| 利益剰余金        |           |           |
| その他利益剰余金     |           |           |
| 繰越利益剰余金      | 1,385,144 | 1,449,135 |
| 利益剰余金合計      | 1,385,144 | 1,449,135 |
| 株主資本合計       | 2,164,860 | 2,228,851 |
| 評価・換算差額等     |           |           |
| その他有価証券評価差額金 | 1,593     | 57        |
| 評価・換算差額合計    | 1,593     | 57        |
| 純資産合計        | 2,163,266 | 2,228,794 |
| 負債・純資産合計     | 2,297,524 | 2,400,929 |

## （２）【損益計算書】

（単位：千円）

|           | 前事業年度<br>（自2018年4月1日<br>至2018年12月31日） | 当事業年度<br>（自2019年1月1日<br>至2019年12月31日） |
|-----------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業収益      |                                       |                                       |
| 委託者報酬     | 924,875                               | 1,156,758                             |
| 営業収益計     | 924,875                               | 1,156,758                             |
| 営業費用      |                                       |                                       |
| 支払手数料     | 339,622                               | 408,328                               |
| 委託費       | 4,355                                 | 28,657                                |
| 広告宣伝費     | 3,867                                 | 4,654                                 |
| 通信費       | 61,259                                | 89,735                                |
| 協会費       | 1,286                                 | 2,030                                 |
| 諸会費       | 36                                    | 82                                    |
| 営業費用計     | 410,425                               | 533,488                               |
| 一般管理費     | 1・2                                   | 1・2                                   |
|           | 353,691                               | 544,199                               |
| 営業利益      | 160,758                               | 79,069                                |
| 営業外収益     |                                       |                                       |
| 受取利息      | 3                                     | 7                                     |
| 有価証券利息    | 231                                   | 403                                   |
| 投資有価証券売却益 | -                                     | 1,287                                 |
| 為替差益      | -                                     | 0                                     |
| 雑収入       | 41                                    | -                                     |
| 営業外収益計    | 276                                   | 1,699                                 |

|              |         |        |
|--------------|---------|--------|
| 営業外費用        |         |        |
| 投資有価証券売却損    | 671     | -      |
| 為替差損         | 128     | -      |
| 営業外費用計       | 800     | -      |
| 経常利益         | 160,234 | 80,768 |
| 特別利益         |         |        |
| 資産除去債務取崩益    | -       | 2,517  |
| 特別利益計        | -       | 2,517  |
| 特別損失         |         |        |
| その他特別損失      | 72      | -      |
| 特別損失計        | 72      | -      |
| 税引前当期純利益     | 160,161 | 83,285 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 43,786  | 36,010 |
| 法人税等調整額      | 2,171   | 16,715 |
| 法人税等合計       | 41,615  | 19,294 |
| 当期純利益        | 118,546 | 63,990 |

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

（単位：千円）

|                         | 株主資本    |         |          |         |
|-------------------------|---------|---------|----------|---------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金   |          |         |
|                         |         | 資本準備金   | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高                   | 150,000 | 400,000 | 229,716  | 629,716 |
| 当期変動額                   |         |         |          |         |
| 剰余金の配当                  |         |         |          |         |
| 当期純利益                   |         |         |          |         |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |         |          |         |
| 当期変動額合計                 | -       | -       | -        | -       |
| 当期末残高                   | 150,000 | 400,000 | 229,716  | 629,716 |

|                         | 株主資本      |             |            | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計     |
|-------------------------|-----------|-------------|------------|------------------|----------------|-----------|
|                         | 利益剰余金     |             | 株主資本<br>合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |           |
|                         | その他利益剰余金  | 利益剰余金<br>合計 |            |                  |                |           |
|                         | 繰越利益剰余金   |             |            |                  |                |           |
| 当期首残高                   | 1,266,597 | 1,266,597   | 2,046,314  | 491              | 491            | 2,045,822 |
| 当期変動額                   |           |             |            |                  |                |           |
| 剰余金の配当                  |           |             |            |                  |                |           |
| 当期純利益                   | 118,546   | 118,546     | 118,546    |                  |                | 118,546   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |           |             |            | 1,102            | 1,102          | 1,102     |
| 当期変動額合計                 | 118,546   | 118,546     | 118,546    | 1,102            | 1,102          | 117,444   |
| 当期末残高                   | 1,385,144 | 1,385,144   | 2,164,860  | 1,593            | 1,593          | 2,163,266 |

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

（単位：千円）

|                         | 株主資本    |         |          |         |
|-------------------------|---------|---------|----------|---------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金   |          |         |
|                         |         | 資本準備金   | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高                   | 150,000 | 400,000 | 229,716  | 629,716 |
| 当期変動額                   |         |         |          |         |
| 剰余金の配当                  |         |         |          |         |
| 当期純利益                   |         |         |          |         |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |         |         |          |         |
| 当期変動額合計                 | -       | -       | -        | -       |
| 当期末残高                   | 150,000 | 400,000 | 229,716  | 629,716 |

|                         | 株主資本      |           |            | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計     |
|-------------------------|-----------|-----------|------------|------------------|----------------|-----------|
|                         | 利益剰余金     |           | 株主資本<br>合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算差<br>額等合計 |           |
|                         | その他利益剰余金  | 利益剰余金     |            |                  |                |           |
|                         | 繰越利益剰余金   | 合計        |            |                  |                |           |
| 当期首残高                   | 1,385,144 | 1,385,144 | 2,164,860  | 1,593            | 1,593          | 2,163,266 |
| 当期変動額                   |           |           |            |                  |                |           |
| 剰余金の配当                  |           |           |            |                  |                |           |
| 当期純利益                   | 63,990    | 63,990    | 63,990     |                  |                | 63,990    |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |           |           |            | 1,536            | 1,536          | 1,536     |
| 当期変動額合計                 | 63,990    | 63,990    | 63,990     | 1,536            | 1,536          | 65,526    |
| 当期末残高                   | 1,449,135 | 1,449,135 | 2,228,851  | 57               | 57             | 2,228,794 |

## [注記事項]

## （重要な会計方針）

## １．資産の評価基準及び評価方法

## （１）有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

当事業年度末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。

## （２）金銭の信託

時価法によっております。

## ２．固定資産の減価償却の方法

## （１）有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、以下の通りであります。

建物 10年

器具備品 5～20年

また、取得価額が100千円以上200千円未満の減価償却資産につきましては、3年均等償却によっております。

## （２）無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

## （３）長期前払費用

定額法によっております。

### 3．引当金の計上基準

#### （１）貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。

#### （２）賞与引当金

従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。

#### （３）役員賞与引当金

役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する将来の支給見込額のうち、当事業年度末において負担すべき額を計上しております。

#### （４）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（５年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

### 4．その他財務諸表の作成のための基本となる重要な事項

#### 消費税等の会計処理方法

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### （追加情報）

当社は、2018年6月27日開催の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。したがって第13期事業年度は2018年4月1日から2018年12月31日までとなっております。

#### （貸借対照表関係）

##### 1．有形固定資産より控除した減価償却累計額

|                     | 前事業年度<br>(2018年12月31日) | 当事業年度<br>(2019年12月31日) |
|---------------------|------------------------|------------------------|
| 有形固定資産より控除した減価償却累計額 | 23,495千円               | 27,276千円               |

#### （損益計算書関係）

##### 1．役員報酬の範囲

|        | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 取締役 年額 | 200,000千円                             | 200,000千円                             |
| 監査役 年額 | 30,000千円                              | 30,000千円                              |

##### 2．一般管理費の主なもののうち主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。

|            | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 人件費        | 212,003千円                             | 289,853千円                             |
| 減価償却費      | 6,321千円                               | 17,296千円                              |
| 賞与引当金繰入額   | 12,138千円                              | 13,264千円                              |
| 役員賞与引当金繰入額 | 3,195千円                               | 3,000千円                               |
| 退職給付費用     | 3,366千円                               | 14,649千円                              |

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1．発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当事業年度末  |
|-------|---------|----|----|---------|
| 普通株式  | 13,000株 | -  | -  | 13,000株 |

2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4．剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

1．発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当事業年度末  |
|-------|---------|----|----|---------|
| 普通株式  | 13,000株 | -  | -  | 13,000株 |

2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4．剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

（リース取引関係）

< 借主側 >

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

|     | 前事業年度<br>2018年12月31日 | 当事業年度<br>2019年12月31日 |
|-----|----------------------|----------------------|
| 1年内 | 16,800千円             | 28,200千円             |
| 1年超 | 64,400千円             | 82,900千円             |
| 合 計 | 81,200千円             | 111,100千円            |

## （金融商品関係）

## １．金融商品の状況に関する事項

## （１）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っております。

当社では保有する金融資産・負債から生ずる様々なリスクを横断的かつ効率的に管理し、財務の健全性の維持を図っております。

なお、余資運用に関しては、預金等安全性の高い金融資産で運用しております。

## （２）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

現金・預金は、国内通貨による預金等であり、短期間で決済されるため、為替変動リスクや価格変動リスクは殆どないと認識しております。金銭の信託は、主に債権等を裏付けとした証券化商品を運用対象としておりますが、保有している証券化商品の外部格付機関による格付評価が高いため、価格変動リスクは殆どないと認識しております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクは殆ど無いと認識しております。

投資有価証券は当社運用投資信託であり、当初自己設定および商品性維持を目的に保有しております。当該投資信託は為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、投資金額はその目的に応じた額にとどめられており、リスクは極めて限定的であると認識しています。

未払費用につきましては、そのほとんどが一年以内で決済されます。

## ２．金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2018年12月31日）

（単位：千円）

|             | 貸借対照表計上額  | 時価        | 差額 |
|-------------|-----------|-----------|----|
| 資産          |           |           |    |
| (1) 現金・預金   | 749,355   | 749,355   | -  |
| (2) 金銭の信託   | 1,300,000 | 1,300,000 | -  |
| (3) 未収委託者報酬 | 118,904   | 118,904   | -  |
| (4) 投資有価証券  |           |           |    |
| その他有価証券     | 39,373    | 39,373    | -  |
| 資産計         | 2,207,633 | 2,207,633 | -  |
| 負債          |           |           |    |
| (1) 未払費用    | 86,606    | 86,606    | -  |
| (2) 未払法人税等  | 6,212     | 6,212     | -  |
| 負債計         | 92,818    | 92,818    | -  |

当事業年度（2019年12月31日）

（単位：千円）

|             | 貸借対照表計上額  | 時価        | 差額 |
|-------------|-----------|-----------|----|
| 資産          |           |           |    |
| (1) 現金・預金   | 677,158   | 677,158   | -  |
| (2) 金銭の信託   | 1,400,000 | 1,400,000 | -  |
| (3) 未収委託者報酬 | 151,985   | 151,985   | -  |
| (4) 投資有価証券  |           |           |    |
| その他有価証券     | 2,017     | 2,017     | -  |
| 資産計         | 2,231,161 | 2,231,161 | -  |
| 負債          |           |           |    |
| (1) 未払費用    | 120,042   | 120,042   | -  |
| (2) 未払法人税等  | 10,750    | 10,750    | -  |
| 負債計         | 130,793   | 130,793   | -  |

## （注）１．金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

## 資産

## (1)現金・預金 (2)金銭の信託 (3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と類似していることから、当該帳簿価額によっております。

## (4)投資有価証券

投資信託は公表されている基準価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

## 負債

## (1)未払費用 (2)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と類似していることから、当該帳簿価額によっております。

## ２．金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（2018年12月31日）

（単位：千円）

|                   | 1年以内      | 1年超<br>5年以内 |
|-------------------|-----------|-------------|
| 現金・預金             | 749,355   | -           |
| 金銭の信託             | 1,300,000 | -           |
| 未収委託者報酬           | 118,904   | -           |
| 投資有価証券            |           |             |
| その他有価証券のうち満期があるもの | -         | -           |
| 合 計               | 2,168,259 | -           |

当事業年度（2019年12月31日）

（単位：千円）

|                   | 1年以内      | 1年超<br>5年以内 |
|-------------------|-----------|-------------|
| 現金・預金             | 677,158   | -           |
| 金銭の信託             | 1,400,000 | -           |
| 未収委託者報酬           | 151,985   | -           |
| 投資有価証券            |           |             |
| その他有価証券のうち満期があるもの | -         | -           |
| 合 計               | 2,229,144 | -           |

## （有価証券関係）

## １．その他有価証券

前事業年度（2018年12月31日）

| 区分                      | 貸借対照表計上額<br>（千円） | 取得原価<br>（千円） | 差額<br>（千円） |
|-------------------------|------------------|--------------|------------|
| 貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えるもの |                  |              |            |
| （１）株式                   | -                | -            | -          |
| （２）債券                   | -                | -            | -          |
| （３）その他                  | -                | -            | -          |
| 小 計                     | -                | -            | -          |

|                          |        |        |       |
|--------------------------|--------|--------|-------|
| 貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えないもの |        |        |       |
| （１）株式                    | -      | -      | -     |
| （２）債券                    | -      | -      | -     |
| （３）その他                   | 39,373 | 41,671 | 2,297 |
| 小 計                      | 39,373 | 41,671 | 2,297 |
| 合 計                      | 39,373 | 41,671 | 2,297 |

## 当事業年度（2019年12月31日）

| 区分                       | 貸借対照表計上額<br>（千円） | 取得原価<br>（千円） | 差額<br>（千円） |
|--------------------------|------------------|--------------|------------|
| 貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えるもの  |                  |              |            |
| （１）株式                    | -                | -            | -          |
| （２）債券                    | -                | -            | -          |
| （３）その他                   | 1,002            | 1,000        | 2          |
| 小 計                      | 1,002            | 1,000        | 2          |
| 貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えないもの |                  |              |            |
| （１）株式                    | -                | -            | -          |
| （２）債券                    | -                | -            | -          |
| （３）その他                   | 1,014            | 1,100        | 85         |
| 小 計                      | 1,014            | 1,100        | 85         |
| 合 計                      | 2,017            | 2,100        | 82         |

## ２．売却したその他有価証券

## 前事業年度（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

| 種類     | 売却額<br>（千円） | 売却益の合計額<br>（千円） | 売却損の合計額<br>（千円） |
|--------|-------------|-----------------|-----------------|
| （１）株式  | -           | -               | -               |
| （２）債券  | -           | -               | -               |
| （３）その他 | 9,328       | -               | 671             |
| 合計     | 9,328       | -               | 671             |

## 当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

| 種類     | 売却額<br>（千円） | 売却益の合計額<br>（千円） | 売却損の合計額<br>（千円） |
|--------|-------------|-----------------|-----------------|
| （１）株式  | -           | -               | -               |
| （２）債券  | -           | -               | -               |
| （３）その他 | 57,922      | 1,652           | 364             |
| 合計     | 57,922      | 1,652           | 364             |

## （デリバティブ取引関係）

当社はデリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

## （退職給付関係）

## １．採用している退職給付制度の概略

当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。

## ２．確定給付制度

## （１）退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

|              | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|--------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 退職給付債務の期首残高  | -                                     | 3,461千円                               |
| 勤務費用         | 3,366千円                               | 14,609千円                              |
| 利息費用         | -                                     | 20千円                                  |
| 数理計算上の差異の発生額 | 95千円                                  | 646千円                                 |
| 退職給付の支払額     | -                                     | -                                     |
| 過去勤務費用の発生額   | -                                     | -                                     |
| 退職給付債務の期末残高  | 3,461千円                               | 18,738千円                              |

## （２）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

|                     | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 非積立制度の退職給付債務        | 3,461千円                               | 18,738千円                              |
| 未積立退職給付債務           | 3,461千円                               | 18,738千円                              |
| 未認識数理計算上の差異         | 95千円                                  | 722千円                                 |
| 未認識過去勤務費用           | -                                     | -                                     |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 3,366千円                               | 18,016千円                              |
| 退職給付引当金             | 3,366千円                               | 18,016千円                              |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 3,366千円                               | 18,016千円                              |

## （３）退職給付費用及びその内訳項目の金額

|                 | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 勤務費用            | 3,366千円                               | 14,609千円                              |
| 利息費用            | -                                     | 20千円                                  |
| 期待運用収益          | -                                     | -                                     |
| 数理計算上の差異の費用処理額  | -                                     | 19千円                                  |
| 過去勤務費用の費用処理額    | -                                     | -                                     |
| 確定給付制度に係る退職給付費用 | 3,366千円                               | 14,649千円                              |

## （４）数理計算上の計算基礎に関する事項

|           | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|-----------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 割引率       | 0.6%                                  | 0.4%                                  |
| 長期期待運用収益率 | -                                     | -                                     |
| 予想昇給率     | 2.3%                                  | 2.4%                                  |

## （税効果会計関係）

## １．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 of の主な原因別の内訳

|        | 前事業年度<br>(2018年12月31日) | 当事業年度<br>(2019年12月31日) |
|--------|------------------------|------------------------|
| 繰延税金資産 |                        |                        |
| 未払費用   | 4,956千円                | 7,418千円                |

|              |          |          |
|--------------|----------|----------|
| 未払事業所税       | 201千円    | 259千円    |
| 未払事業税        | 1,083千円  | 1,245千円  |
| 賞与引当金        | 3,716千円  | 4,061千円  |
| 退職給付引当金      | 1,030千円  | 5,516千円  |
| 減価償却超過額      | 1,084千円  | 1,394千円  |
| 繰延資産         | 187千円    | 92千円     |
| 資産除去債務       | 1,745千円  | -        |
| その他有価証券評価差額金 | 703千円    | 25千円     |
| その他          | 6,946千円  | 8,310千円  |
| 繰延税金資産小計     | 21,657千円 | 28,324千円 |
| 評価性引当金       | 8,692千円  | 456千円    |
| 繰延税金資産合計     | 12,964千円 | 27,868千円 |
| 繰延税金負債       |          |          |
| 建物付属設備       | 1,134千円  | -        |
| 繰延税金負債合計     | 1,134千円  | -        |
| 繰延税金資産純額     | 11,830千円 | 27,868千円 |

## ２．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

|                    | 前事業年度<br>(2018年12月31日) | 当事業年度<br>(2019年12月31日) |
|--------------------|------------------------|------------------------|
| 法定実効税率             | 30.62%                 | 30.62%                 |
| (調整)               |                        |                        |
| 所得拡大税制の特別控除        | 4.89%                  | -                      |
| 交際費等永久に損金に算入されない項目 | 0.64%                  | 1.52%                  |
| 住民税均等割等            | 0.14%                  | 0.35%                  |
| 評価性引当額の増減          | 0.23%                  | 9.65%                  |
| その他                | 0.75%                  | 0.33%                  |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率  | 25.98%                 | 23.17%                 |

### (資産除去債務関係)

#### １．当該資産除去債務の概要

建物賃貸借契約に基づき使用する建物等の、退去時における原状回復義務であります。

#### ２．当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を10年と見積り、割引率を0%として資産除去債務の金額を計算しております。

#### ３．当該資産除去債務の総額の増減

|                 | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 期首残高            | 5,699千円                               | 5,699千円                               |
| 有形固定資産の取得に伴う増加額 | -                                     | -                                     |
| 時の経過による調整額      | -                                     | -                                     |
| 見積りの変更による調整額    | -                                     | 5,699千円                               |
| 資産除去債務の履行による減少額 | -                                     | -                                     |
| 期末残高            | 5,699千円                               | -                                     |

#### ４．当該資産除去債務の見積りの変更

当事業年度において、当社の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計算していた資産除去債務について、転居費用等の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。  
この見積りの変更による減少額5,699千円を変更前の資産除去債務残高から減算しております。

## （セグメント情報等）

## [セグメント情報]

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）及び当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を主とした金融サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## [関連情報]

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

## 1．製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

|            | 投資信託運用業務 | 投資一任業務 | 情報提供業務 | 合 計     |
|------------|----------|--------|--------|---------|
| 外部顧客への営業収益 | 924,875  | -      | -      | 924,875 |

## 2．地域ごとの情報

## (1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載は省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 3．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

## 1．製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

|            | 投資信託運用業務  | 投資一任業務 | 情報提供業務 | 合 計       |
|------------|-----------|--------|--------|-----------|
| 外部顧客への営業収益 | 1,156,758 | -      | -      | 1,156,758 |

## 2．地域ごとの情報

## (1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載は省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 3．主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## [報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

## [報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

## [報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

## （関連当事者情報）

## １．関連当事者との取引

財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

| 種類   | 会社等の名称   | 所在地     | 資本金<br>又は出資金<br>(百万円)    | 事業の<br>内容<br>又は職業 | 議決権等<br>の被所有<br>割合 | 関係内容       |                | 取引の内容         | 取引金額<br>(千円) | 科目   | 期末残高<br>(千円) |
|------|----------|---------|--------------------------|-------------------|--------------------|------------|----------------|---------------|--------------|------|--------------|
|      |          |         |                          |                   |                    | 役員の<br>兼任等 | 事業上<br>の関係     |               |              |      |              |
| 兄弟会社 | 楽天証券株式会社 | 東京都世田谷区 | 7,495<br>(2018年12月31日現在) | インターネット証券取引サービス業  | —                  | 兼任<br>2人   | 当社投資信託の募集の取扱い等 | 証券投資信託の代行手数料等 | 151,731      | 未払費用 | 25,055       |
|      |          |         |                          |                   |                    |            |                | 出向者の人件費等      | 18,126       |      |              |

当事業年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

| 種類   | 会社等の名称   | 所在地     | 資本金<br>又は出資金<br>(百万円)    | 事業の<br>内容<br>又は職業 | 議決権等<br>の被所有<br>割合 | 関係内容       |                | 取引の内容         | 取引金額<br>(千円) | 科目   | 期末残高<br>(千円) |
|------|----------|---------|--------------------------|-------------------|--------------------|------------|----------------|---------------|--------------|------|--------------|
|      |          |         |                          |                   |                    | 役員の<br>兼任等 | 事業上<br>の関係     |               |              |      |              |
| 兄弟会社 | 楽天証券株式会社 | 東京都世田谷区 | 7,495<br>(2019年12月31日現在) | インターネット証券取引サービス業  | —                  | 兼任<br>2人   | 当社投資信託の募集の取扱い等 | 証券投資信託の代行手数料等 | 195,915      | 未払費用 | 34,350       |
|      |          |         |                          |                   |                    |            |                | 出向者の人件費等      | 20,820       |      |              |

(注) １．上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

２．証券投資信託の代行手数料については、一般取引先に対する取引条件と同様に決定しております。

## ２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

楽天カード株式会社（非上場）

## （１株当たり情報）

|              | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|--------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| １株当たり純資産額    | 166,405円14銭                           | 171,445円72銭                           |
| １株当たり当期純利益金額 | 9,118円97銭                             | 4,922円38銭                             |

(注) １．潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

２．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項 目 | 前事業年度<br>(自2018年4月1日<br>至2018年12月31日) | 当事業年度<br>(自2019年1月1日<br>至2019年12月31日) |
|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|
|-----|---------------------------------------|---------------------------------------|

|                    |           |           |
|--------------------|-----------|-----------|
| 1株当たり当期純利益金額       |           |           |
| 当期純利益金額(千円)        | 118,546   | 63,990    |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)   | -         | -         |
| 普通株式に係る当期純利益金額(千円) | 118,546   | 63,990    |
| 普通株式の期中平均株式数(株)    | 13,000.00 | 13,000.00 |

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 中間財務諸表

## （１）中間貸借対照表

（単位：千円）

当中間会計期間  
（2020年6月30日）

|          |   |           |
|----------|---|-----------|
| 資産の部     |   |           |
| 流動資産     |   |           |
| 現金・預金    |   | 964,714   |
| 金銭の信託    |   | 700,000   |
| 前払費用     |   | 10,216    |
| 未収入金     |   | 10,891    |
| 未収委託者報酬  |   | 200,120   |
| 立替金      |   | 37,371    |
| 預け金      |   | 50,582    |
| その他      |   | 58        |
| 流動資産計    |   | 1,973,955 |
| 固定資産     |   |           |
| 有形固定資産   | 1 | 28,515    |
| 器具備品（純額） |   | 28,515    |
| 無形固定資産   |   | 86,292    |
| ソフトウェア   |   | 86,292    |
| 投資その他の資産 |   | 469,310   |
| 投資有価証券   |   | 444,423   |
| 長期前払費用   |   | 554       |
| 繰延税金資産   |   | 24,332    |
| 固定資産計    |   | 584,118   |
| 資産合計     |   | 2,558,073 |

（単位：千円）

当中間会計期間  
（2020年6月30日）

|         |  |         |
|---------|--|---------|
| 負債の部    |  |         |
| 流動負債    |  |         |
| 預り金     |  | 11,209  |
| 未払金     |  | 23,290  |
| 未払費用    |  | 163,964 |
| 未払消費税等  |  | 16,144  |
| 未払法人税等  |  | 12,466  |
| 賞与引当金   |  | 11,605  |
| 役員賞与引当金 |  | 1,000   |
| 流動負債計   |  | 239,680 |
| 固定負債    |  |         |
| 退職給付引当金 |  | 31,309  |
| 固定負債計   |  | 31,309  |
| 負債合計    |  | 270,989 |

|              |           |
|--------------|-----------|
| 純資産の部        |           |
| 株主資本         |           |
| 資本金          | 150,000   |
| 資本剰余金        |           |
| 資本準備金        | 400,000   |
| その他資本剰余金     | 229,716   |
| 資本剰余金合計      | 629,716   |
| 利益剰余金        |           |
| その他利益剰余金     |           |
| 繰越利益剰余金      | 1,489,610 |
| 利益剰余金合計      | 1,489,610 |
| 株主資本合計       | 2,269,327 |
| 評価・換算差額等     |           |
| その他有価証券評価差額金 | 17,756    |
| 評価・換算差額合計    | 17,756    |
| 純資産合計        | 2,287,083 |
| 負債・純資産合計     | 2,558,073 |

## ( 2 ) 中間損益計算書

( 単位：千円 )

| 当中間会計期間<br>( 自 2020年1月1日 至 2020年6月30日 ) |         |
|-----------------------------------------|---------|
| 営業収益                                    |         |
| 委託者報酬                                   | 603,922 |
| 営業収益計                                   | 603,922 |
| 営業費用                                    |         |
| 支払手数料                                   | 191,024 |
| 委託費                                     | 44,482  |
| 広告宣伝費                                   | 1,116   |
| 通信費                                     | 30,386  |
| 協会費                                     | 1,062   |
| 諸会費                                     | 90      |
| 営業費用計                                   | 268,162 |
| 一般管理費                                   | 268,760 |
| 営業利益                                    | 66,999  |
| 営業外収益                                   |         |
| 受取利息                                    | 3       |
| 有価証券利息                                  | 174     |
| 投資有価証券売却益                               | 38,894  |
| 雑収入                                     | 1,542   |
| 営業外収益計                                  | 40,615  |
| 経常利益                                    | 107,615 |
| 特別損失                                    |         |
| 固定資産除却損                                 | 423     |
| 事務所移転費                                  | 713     |
| 投資有価証券評価損                               | 32,709  |
| 特別損失計                                   | 33,846  |
| 税引前中間純利益                                | 73,768  |
| 法人税、住民税及び事業税                            | 37,619  |
| 法人税等調整額                                 | 4,326   |
| 中間純利益                                   | 40,475  |

## （３）中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

|                           | 株主資本    |         |          |         |
|---------------------------|---------|---------|----------|---------|
|                           | 資本金     | 資本剰余金   |          |         |
|                           |         | 資本準備金   | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 |
| 当期首残高                     | 150,000 | 400,000 | 229,716  | 629,716 |
| 当中間期変動額                   |         |         |          |         |
| 剰余金の配当                    |         |         |          |         |
| 中間純利益                     |         |         |          |         |
| 株主資本以外の項目の<br>当中間期変動額（純額） |         |         |          |         |
| 当中間期変動額合計                 | -       | -       | -        | -       |
| 当中間期末残高                   | 150,000 | 400,000 | 229,716  | 629,716 |

|                           | 株主資本      |           |            | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計     |
|---------------------------|-----------|-----------|------------|------------------|----------------|-----------|
|                           | 利益剰余金     |           | 株主資本<br>合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |           |
|                           | その他利益剰余金  | 利益剰余金     |            |                  |                |           |
|                           | 繰越利益剰余金   | 合計        |            |                  |                |           |
| 当期首残高                     | 1,449,135 | 1,449,135 | 2,228,851  | 57               | 57             | 2,228,794 |
| 当中間期変動額                   |           |           |            |                  |                |           |
| 剰余金の配当                    |           |           |            |                  |                |           |
| 中間純利益                     | 40,475    | 40,475    | 40,475     |                  |                | 40,475    |
| 株主資本以外の項目の<br>当中間期変動額(純額) |           |           |            | 17,814           | 17,814         | 17,814    |
| 当中間期変動額合計                 | 40,475    | 40,475    | 40,475     | 17,814           | 17,814         | 58,289    |
| 当中間期末残高                   | 1,489,610 | 1,489,610 | 2,269,327  | 17,756           | 17,756         | 2,287,083 |

## 注記事項

（重要な会計方針）

## １．資産の評価基準及び評価方法

## （１）有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

当中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。

## （２）金銭の信託

時価法によっております。

## ２．固定資産の減価償却の方法

## （１）有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 10年

器具備品 5年～20年

また、取得価額が100千円以上200千円未満の減価償却資産につきましては、3年均等償却によっております。

## （２）無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(3) 長期前払費用

定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。

(2) 賞与引当金

従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間会計期間に帰属する額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員への賞与の支払いに備えるため、将来の支給見込額のうち当中間会計期間末において負担すべき額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

4. その他中間財務諸表作成の為の基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は当中間会計期間の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

当中間会計期間から連結納税制度を適用しております。

なお、当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（2020年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(中間貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

当中間会計期間（2020年6月30日）

有形固定資産の減価償却累計額

11,162千円

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

当中間会計期間

(自 2020年1月1日

至 2020年6月30日)

|        |          |
|--------|----------|
| 有形固定資産 | 8,138千円  |
| 無形固定資産 | 10,169千円 |
| 合 計    | 18,308千円 |

## （中間株主資本等変動計算書関係）

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

## 1．発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 増加 | 減少 | 当中間会計期間末 |
|-------|---------|----|----|----------|
| 普通株式  | 13,000株 | -  | -  | 13,000株  |

## 2．自己株式に関する事項

該当事項はありません。

## 3．新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4．剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

## （リース取引関係）

&lt; 借主側 &gt;

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

当中間会計期間末

2020年6月30日

|      |          |
|------|----------|
| 1 年内 | 28,200千円 |
| 1 年超 | 68,800千円 |
| 合 計  | 97,000千円 |

## （金融商品関係）

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

金融商品の時価等に関する事項

2020年6月30日における中間貸借対照表計上額、時価、並びにこれらの差額については次の通りです。

（単位：千円）

|             | 中間貸借対照表計上額 | 時価        | 差額 |
|-------------|------------|-----------|----|
| 資産          |            |           |    |
| (1) 現金・預金   |            |           |    |
| (2) 金銭の信託   | 964,714    | 964,714   | -  |
| (3) 未収委託者報酬 | 700,000    | 700,000   | -  |
| (4) 預け金     | 200,120    | 200,120   | -  |
| (5) 投資有価証券  | 50,582     | 50,582    | -  |
| 其他有価証券      | 444,423    | 444,423   | -  |
| 資産計         | 2,359,841  | 2,359,841 | -  |
| 負債          |            |           |    |
| (1) 未払金     | 23,290     | 23,290    | -  |
| (2) 未払費用    | 163,964    | 163,964   | -  |
| (3) 未払消費税等  | 16,144     | 16,144    | -  |
| (4) 未払法人税等  | 12,466     | 12,466    | -  |
| 負債計         | 215,865    | 215,865   | -  |

（注）金融商品の時価算定の方法

資産

(1)現金・預金 (2)金銭の信託 (3)未収委託者報酬 (4)預け金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と類似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### (5)投資有価証券

投資信託は公表されている基準価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

#### 負債

(1)未払金 (2)未払費用 (3)未払消費税等 (4)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と類似していることから、当該帳簿価額によっております。

#### (有価証券関係)

##### 1. その他有価証券

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

| 区分                         | 中間貸借対照表<br>計上額（千円） | 取得原価<br>（千円） | 差額<br>（千円） |
|----------------------------|--------------------|--------------|------------|
| 中間貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えるもの  |                    |              |            |
| (1) 株式                     | -                  | -            | -          |
| (2) 債券                     | -                  | -            | -          |
| (3) その他                    | 410,988            | 385,000      | 25,988     |
| 小 計                        | 410,988            | 385,000      | 25,988     |
| 中間貸借対照表計上額が<br>取得原価を超えないもの |                    |              |            |
| (1) 株式                     | -                  | -            | -          |
| (2) 債券                     | -                  | -            | -          |
| (3) その他                    | 33,435             | 66,539       | 33,104     |
| 小 計                        | 33,435             | 66,539       | 33,104     |
| 合 計                        | 444,423            | 451,539      | 7,116      |

##### 2. 減損処理を行った有価証券

当中間会計期間において、有価証券について32,709千円（その他有価証券の投資信託受益証券32,709千円）減損処理を行っております。

#### (デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

#### (資産除去債務関係)

該当事項はありません。

#### (セグメント情報等)

##### [セグメント情報]

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を主とした金融サービスの提供を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

##### [関連情報]

当中間会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

##### 1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

|            | 投資信託運用業務 | 合 計     |
|------------|----------|---------|
| 外部顧客への営業収益 | 603,922  | 603,922 |

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載は省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、中間損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 〔報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報〕

該当事項はありません。

## 〔報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報〕

該当事項はありません。

## 〔報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報〕

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

|              | 当中間会計期間<br>(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) |
|--------------|---------------------------------------|
| 1株当たり純資産額    | 175,929円53銭                           |
| 1株当たり中間純利益金額 | 3,113円48銭                             |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目                 | 当中間会計期間<br>(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1株当たり中間純利益金額       |                                       |
| 中間純利益金額(千円)        | 40,475                                |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)   | -                                     |
| 普通株式に係る中間純利益金額(千円) | 40,475                                |
| 普通株式の期中平均株式数(株)    | 13,000.00                             |

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書

2020年2月18日

楽天投信投資顧問株式会社

取締役会 御中

### EY新日本有限責任監査法人

|                    |       |         |
|--------------------|-------|---------|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 伊藤 志保 印 |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 福村 寛 印  |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている楽天投信投資顧問株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの第14期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、楽天投信投資顧問株式会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2020年8月25日

楽天投信投資顧問株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 福村 寛 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている楽天投信投資顧問株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第15期事業年度の中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、楽天投信投資顧問株式会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。

## 独 立 監 査 人 の 中 間 監 査 報 告 書

2021年1月29日

楽天投信投資顧問株式会社  
取締役会御中EY新日本有限責任監査法人  
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 福村 寛 印  
業務執行社員

## 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている楽天・日本株マイクロキャップ・ファンドの2020年6月12日から2020年12月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、楽天・日本株マイクロキャップ・ファンドの2020年12月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2020年6月12日から2020年12月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、楽天投信投資顧問株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づ

き、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

楽天投信投資顧問株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注)1. 上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。